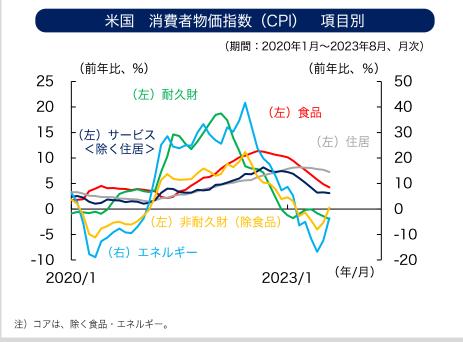
足元の投資環境と資産運用のヒント
~利上げ終了が近づく米国と、緩和縮小期待が高まる日本~

2023年10月

情報ご提供資料

【1】米国のインフレは一部の項目で反発の兆し

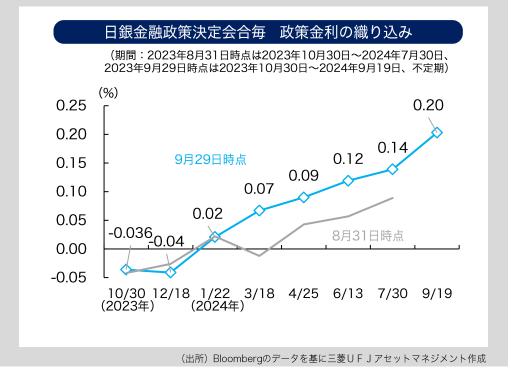
- 8月の米消費者物価指数(CPI)は、前年比で総合が+3.7%(予想+3.6%)、 コア※が+4.3%(予想+4.3%)と概ね予想に一致する内容に。
- 内訳を見ると、粘着性が高いとされるサービス・住宅価格などは前年比で低 下している一方、低下基調を示していた非耐久財やエネルギー価格が反転の 兆しを見せており、一度沈静化した項目のインフレ再燃にも警戒が必要。



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

【4】緩和縮小期待が高まる中、日銀は政策維持

- 日銀は、9月21-22日の金融政策決定会合にて、大規模な金融緩和の維持を 決定し、先行きの政策指針であるフォワードガイダンスも据え置いた。
- 一方、植田総裁は、2%物価安定目標の実現が見通せる状況になればイール ドカーブコントロール(長短金利操作)撤廃やマイナス金利解除を検討す る考えを示しており、市場では金融緩和縮小の前倒しを織り込む動きも。



【2】低迷していた米製造業に回復の兆し

- 9月米ISM (供給管理協会) 製造業景気指数は、総合が49.0と11ヵ月連 続で拡大/縮小の節目の50を下回った一方、3カ月連続で改善を示した。
- また、製造業の景況感の先行指標として注目される、詳細項目の「新規 受注」指数から「在庫」指数を引いた指標は2023年以降反転。足元でも 改善基調が継続しており、今後の製造業の回復が期待される内容に。



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

【5】半導体関連企業の予想EPSは増加傾向

- 8月23日、米半導体メーカーであるエヌビディアは、2023年第2四半期 (5-7月期)の企業決算で市場予想を上回る売上高とガイダンスを公表。 先行きの業績改善への期待感から予想EPSは直近数カ月で大きく上昇。
- 一方、同業種の企業の予想EPSも上昇基調にあり、 AI (人工知能) 向け の半導体需要などが半導体関連企業の収益を支える可能性を示唆。

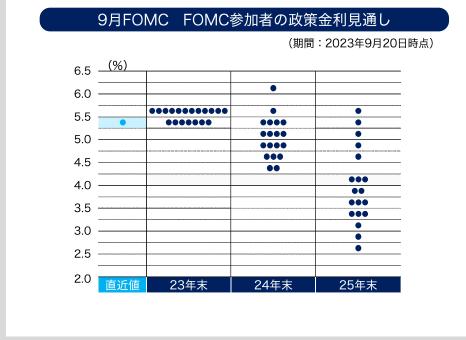




(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

【3】9月FOMCは利上げ無しもタカ派姿勢を維持

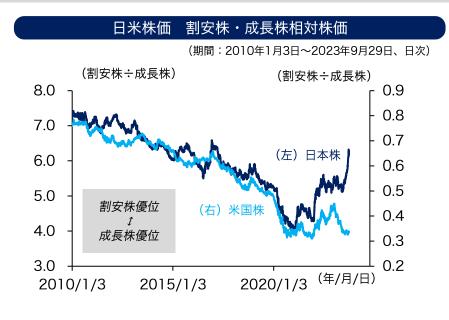
- 9月19-20日の米FOMC(米連邦公開市場委員会)では、政策金利の据え置 きを決定。3ヵ月毎に公表されるFOMC参加者の政策金利見通しでは、6月 会合と同様に年内あと1回の利上げと2024年の利下げ開始を示唆。
- パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長は、2%のインフレ率達成には 長い道のりがあると言及し、当面は金融引き締めを維持する姿勢を示した。



(出所) FOMCより三菱UFJアセットマネジメント作成

【6】日米の物色動向に乖離

- 日米の金融政策の方向性や景気・企業収益動向などの違いを受け、日米の 割安株(バリュー)・成長株(グロース)相対株価は、足元で大きく乖離。
- 日本においては、堅調な景気やPBR(株価純資産倍率)1倍未満の企業へ の収益改善期待などによる割安株優位、米国においては、利上げ停止期待 や半導体需要などによる成長株優位に変化が見られるかに注目が集まる。



注)上記は指数を利用。使用している指数については、「本資料で使用している指数について」を参照。

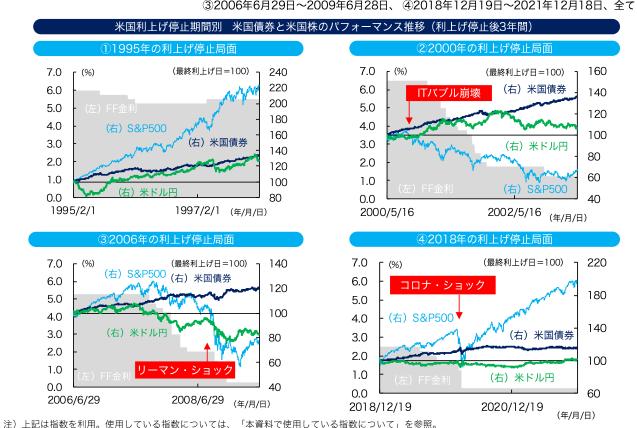
(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

2023年10月

米国株・債券・為替:過去の局面では、利上げ停止後の米国債券のパフォーマンスは良好

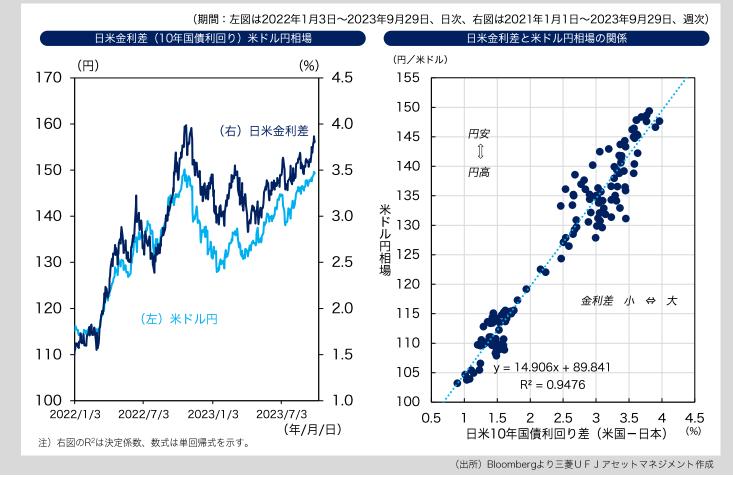
過去4回の利上げ停止局面を振り返ると、米国債券は総じて安定的なパフォーマンスであった。 一方、株式のパフォーマンスは、経済・金融市場のショックに大きく左右されることも。

> (期間: ①1995年2月1日~1998年1月31日、②2000年5月16日~2003年5月15日、 ③2006年6月29日~2009年6月28日、 ④2018年12月19日~2021年12月18日、全て日次)



為替:日米金利差の拡大に合わせ円安が進行

2023年に入り、日銀のYCC柔軟化などを受け国内金利は上昇したものの、米国での金利上昇が相対的に大きく 日米金利差は拡大傾向。ここ数年、米ドル円相場は金利差に応じて推移する傾向があり、足元では円安圧力が継続。



上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。指数については、【本資料で使用している指数について】をご覧ください。 【本資料に関してご留意頂きたい事項】を必ずご覧ください。

(出所) Bloombergより三菱UFJアセットマネジメント作成

【投資信託のリスクとお客さまにご負担いただく費用について】 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債およびリート等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等によ り基準価額が変動します。これらの<u>運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。</u>したがって、<u>投資者のみなさまの投資元本が保証され</u>ているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を<u>割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。</u>また、投資信託は、個別の投資信託 毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付 目論見書)、目論見書補完書面等をよくご覧ください。

投資信託に係る費用について

で投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

- ■購入時(ファンドによっては換金時)に直接ご負担いただく費用:購入時(換金時)手数料…<u>上限3.30%(税込</u>
- ※一部のファンドについては、購入時(換金時)手数料額(上限38,500円(税込))を定めているものがあります。
- ■購入時・換金時に直接ご負担いただく費用:信託財産留保額…ファンドにより変動するものがあるため、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表 示することができません。
- ■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用:運用管理費用(信託報酬)…上<mark>限 年率3.41%(税込)</mark>

(有価証券の貸付の指図を行った場合)

有価証券の貸付の指図を行った場合には品貸料がファンドの収益として計上されます。その収益の一部を委託会社と受託会社が受け取る場合があります。この場合、 ファンドの品貸料およびマザーファンドの品貸料のうちファンドに属するとみなした額の上<mark>限 55%(税込)</mark>の額が上記の運用管理費用(信託報酬)に追加されます。

※一部のファンドについては、運用実績に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

その他の費用・手数料・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等でご確認ください。 ※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計金額等を記載することはできません。

上記のリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三菱UFJアセットマネジメントが運用するすべての 公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりま すので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をご覧ください。

【本資料で使用している指数について】

- ・米国割安株: MSCI USA Value Price Local ・米国成長株: MSCI USA Growth Price Local
- ・日本割安株: MSCI Japan Value Index ・日本成長株: MSCI Japan Growth Index
- ・米国債券:ブルームバーグ米国総合債券インデックス

本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するもので はありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ(https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html)を合わせてご確認ください。

【本資料に関してご留意頂きたい事項】

- ■本資料は、足元の投資環境と資産運用のヒントについてお知らせするために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示 資料ではありません。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- ■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託 投資者保護預金の補填の対象ではありません。
- ■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- ■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- ■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- ■投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- ■クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご留意ください。

【お問合せ・ご照会は】



三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行

登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号 加入協会:日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

三菱UFJ銀行コールセンター (運用商品(保険を除く)) 120-860-77 9:00~18:00(くわしい利用日時は以下URLのホームページをご覧ください)

https://www.bk.mufg.jp/faq/ivr.html

https://www.bk.mufg.ip

くわしい利用日時はこちら

【本資料の作成】

三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号 加入協会:一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会